

1 自治体名	2 関係部署名	
西脇市	教育部生涯学習課	
1 行政課題の分野	2 支援施策の分類	3 対象とする世代
教育	学び支援施策	中学生(12～15歳)
4 事業者の協力を求める内容	5 困りごとの解決・解消に向けた対応期間	
解決に向けた資金・資材等の提供	中長期的に対応していきたい	
6 解決・解消に要する費用に対する考え方		7 補足資料の有無
社会貢献として無償協力願いたい		なし

1 「困りごと」と事業者に期待する内容(要約)

学校部活動の地域展開に当たって、指導者の確保・育成や地域クラブの安定運営のための支援、設備・備品等の環境整備など、持続可能な事業運営を実現するためのアイデアの提供や資金・資材等の支援を期待します。

2 現状の行政課題

○学校部活動の地域展開が全国的な課題となる中、本市においても部活動の受け皿となる地域クラブ(指導者を含む)の確保・育成が大きな課題となっている。また、原則、受益者負担で運営される地域クラブでは、組織の立ち上げや安定的な運営に必要となる資金・資材・人材等の確保が課題となっている。

○また、令和10年度の中学3年生の最後の大会等が終了した後、学校部活動は終了し、地域における活動に移行する。平日の地域クラブについては、指導者の都合上、夕刻からの活動が想定されるが、本市においては照明設備を有している屋外体育施設が少ないほか、屋内体育施設についてもLED化が進んでおらず、大きな課題となっている。

3 行政課題に対する施策(事業)展開による対応状況と困っていること(課題)

○現状では、18地域クラブを認定し、うち17地域クラブが活動を開始しているが、学校部活動にある既存の種目のうち、野球、サッカー、バスケットボールについて受け皿の目途が立たない状況となっている。

○また、17地域クラブについて参加者を募集したものの、多くの地域クラブで希望者がいない状況となっている。さらに、地域クラブ立ち上げ期における支援制度が確立できていないことから、必要な備品等の確保が十分にできていないところである。

○加えて、令和10年度の中学3年生の最後の大会等が終了すれば、学校部活動はなくなり、地域における活動に移行することとしているが、屋外で行うスポーツの場合、平日の活動時間が夕刻からとなることが想定され、照明の整備が必須となるが、特段の国・県等の助成制度がなく、財源確保が大きな課題となっている。

○上記、受け皿の目途が立っていない種目に対する指導者確保や立ち上げ期における支援制度の構築、必要な備品や設備の整備等が課題となっている。

4 企業・団体に「困りごと」解決に向けて連携や協力を求める内容

○現状では、部活動地域展開に伴う施設整備は、国・県等の補助対象外となっていることから、令和10年度以降の平日展開を見据え、屋外体育施設の照明設備の新設及び屋内体育施設の照明設備の更新について、民間資本の活用(ESCO事業、DB方式等)をはじめとした連携を期待している。

○併せて、地域クラブ立ち上げ期の消耗品、備品等の提供支援(物品提供・企業版ふるさと納税等)や指導者の発掘・育成など、持続可能な地域クラブ運営に資するアイデアを提供いただきたい。